

家づくりのワンポイントアドバイス ～室内建具の基礎知識～

室内建具は多種多様

家の中で使われるドアや扉は、形状や素材、デザインなど、豊富なバリエーションの商品が各メーカーから発売されています。室内ドアはインテリアの雰囲気を決める重要なアイテムです。使用する場所に合った開閉方法やデザインのものを選びましょう。

◇開閉方法は3種類

室内建具の種類は、開閉方式により大きく分けて、開き戸、引き戸、折れ戸の3種類になります。

【開き戸】

洋室で最も多く使われているドアです。1枚の扉を開閉する「片開き」、2枚の扉を開閉する「両開き」、大小2枚の扉を開閉する「親子開き」などがあります。使う場所に合わせて、「内開き」「外開き」といった開閉方法や幅などを選びます。

【引戸】

和室のイメージが強いかもしれませんが、最近では洋室でも多く使われます。1枚の扉を開閉する「片引き」、2枚の扉を開閉する「引き違い」または「引き分け」、壁の中へ引き込む「引き込み戸」などがあります。通風を確保しやすく、開閉スペースがとられないことなどがメリットです。

【折れ戸】

蝶番などで連結させた扉を折りたたんで開閉するタイプです。クローゼットに多く使われますが、開き戸よりも開閉のスペースが少なくすむので、間口の狭いトイレや洗面室に使われるケースもあります。

室内建具は、床材などと合わせたトータルコーディネートが大切です。例えば、ナチュラルな色で統一すると明るくカジュアルな雰囲気に、逆にダークな色で統一すると落ち着いた雰囲気になります。サンプルやカタログだけでなく、モデルハウスやショールームで実際に取り付けた部屋の雰囲気をみて選ぶと良いでしょう。

一般的なドアの他にも防音ドアやペットドア自動的に閉まるドアなど様々な機能を併せ持った商品も数多くありますよ！



住まいのヒント ～エコで注目LED照明～

LEDは消費電力が少なく電気代が節約できて環境にも優しいため、とても注目を集めています。以前はお店やオフィスなどの商業施設でよく使われていましたが、最近では家庭用でもLED照明の普及が急速に進んでいます。

■長寿命で電気代も節約

LED照明の寿命は約40,000時間にもなります。蛍光灯や白熱球などに比べると圧倒的に長寿命です。

＜照明器具の寿命料金比較表＞ (注)1kwh22円

	平均価格	消費電力	寿命	40,000時間使用時の金額
LED電球 (60W相当)	2,500円	7W	約40,000時間	8,660円
電球型蛍光灯 (60W相当)	700円	12W	約10,000時間	13,760円
白熱球	130円	54W	約1,000時間	52,720円

(AllAbout 2010年11月「電気代と賢い選び方」より引用)

LEDの特徴は？

LED照明の一番の特徴は、白熱灯や蛍光灯と比べて消費電力がとても少ないこと。また、寿命が非常に長いというのも特徴のひとつです。LED照明に取り換えるだけで50%から80%ものCO2が削減できるとも言われています。

LED照明の利点

■点滅が少ない

蛍光灯ではON、OFFを繰り返すと照明はチラツキが気になりやすくなりますが、LED照明は目に優しく、頻繁にON、OFFが繰り返される洗面所やトイレのような場所でも安心して使えます。

■紫外線・熱線の発生が少ない

LEDは紫外線の発生が少ないため、女性のお肌にも優しい照明です。また、変色を嫌う絵画や熱がこもりやすい狭い場所の照明にも最適です。

特に、今年3月の東日本大震災後は電力供給量不足から、LED照明の需要が国内で急速に拡大しています。LED電球の販売価格も下がり、家庭でも買いやすい金額体になってきました。今更なる注目アイテムですね。



お手軽プチ風水 ～バスルーム～



水で体を洗い流す浴室は悪い運気を流し、気持ちをリラックスさせる場所です。水周りに共通しているのですが、風水健康運やビューティ運に直結していると言われています。シャワーで手早く済ませてしまわずに、バスタブでゆったり一日の疲れをとって、お肌と心を活性化させる習慣を心がけましょう。

■掃除と換気はしっかりと

バスルームをこまめに掃除して綺麗にすることは、浴室の風水では基本です。湿気がこもるとカビが発生してお肌に悪影響がでしてしまうので、お風呂から出たら浴槽を掃除し、換気をしっかりしましょう。また、浴槽の水垢やタイルのカビ、排水溝のぬめりなどを落としてください。鏡もピカピカに磨いて清潔に保ちましょう。

■残り湯はNG

お風呂は一日に溜まった悪い気を流す場所です。残り湯は出来るだけ全て洗い流すようにし、流した後は1時間ほど換気をしましょう。もし翌日の洗濯に使うなら、夜のうちに洗濯機に移動しておくといいでしょう。

■シャンプーやボディソープは陶器ボトルに

水回りに、火の気をもつというプラスチック製品を置くのは避けましょう。購入したそのままの容器を使用するより陶器かガラスのボトルに詰め替えることをおすすめします。なぜなら、「生活感が出ると財運が遠ざかっていく」という仕組みがあるからです。

■小物にもこだわりを

お掃除ブラシやスポンジなどの小物は消耗品です。いつまでも使っていると不衛生なので、こまめに取り替えましょう。また、バスルームの水気を外に持ち出さないよう、バスマットは必ず敷きましょう。明るいパステルカラーや竹やコットン素材がオススメです。